

ERISマークの付いた行事は
「えりすいしかしりネットテレビ」でもご紹介しています。
あわせてご覧ください! <http://www.i-eris.tv/>



○厚田の夏の風物詩

今年も海の日の7月21日(月・祝)に恒例の厚田神社例大祭が盛大に行われました。大漁旗をはためかせながらみこしを積んだ漁船が海上を巡航する海上渡御は、まさに圧巻。戻ってきたみこしは町を練り歩き、たくさんの歓声が上がりました。また、前日の宵宮祭では、地元を含む12チームによるYOSAKOIソーラン演舞もあって、大盛り上がり。今年もみんなが祭りに酔いした楽しい2日間でした。



海上の安全と豊漁を祈願する海上渡御

○ニシン文化が栄えた証し

浜益コミセン(きらり)横の浜益中央公園に「にしん街道標柱」が設置されました。これは新しい観光ルートとして、かつてニシン漁で栄えた道内の日本海沿岸市町村を結ぶもので、7月19日(土)に除幕式が行われました。上ノ国町や松前町、積丹町などに続く11カ所目の標柱。今後は、厚田区や留萌、宗谷地方にも設置される予定で、新たな名所として期待されます。



句歌歳時記	俳句	川柳	短歌
晩夏光土の香りの薄れゆく	漁船団海兵隊に無視されし	木の葉陰朝の挨拶ひよどりの 声がひびきて水無月の空	「ニコビン」の体操にが手今日学ぶ
敦賀	田中	小泉	早川
國子	五郎	澄子	郁

○花と緑の協議会 花壇コンクール

今年の最優秀賞は花川北中学校—7月24日(木)、9回目となる花壇コンクールの表彰式が行われました。白や赤、黄色にピンクなど色とりどりのベゴニアやマリーゴールドなどが植えられた花壇は、見栄えが良く、とてもきれいな配色。また手入れが行き届き、ビニールハウスで種から育てるなど丁寧に管理してきたことも高く評価されました。



表彰式の様子



最優秀花壇
(花川北中学校)

○桂由美さんが石狩市を訪問

世界的に有名なファッショントレーナーの桂由美さんが8月14日(木)、石狩市を訪れました。桂さんは、「恋人の聖地プロジェクト」の選定委員で、今回の訪問は、石狩市が全国64カ所の「恋人の聖地」の中でも地域における取り組みが特に活発なことから厚田公園展望台の視察を希望されたもの。展望台では、「目の前に海が広がり、まさに2人だけの場所にふさわしい素晴らしいロケーション」と絶賛。その後は、カップル向け企画「ishikariあいロードプロジェクト」のメンバーである藤女子大学の学生と、大学近くのカフェで「あいロードスイーツ」を食べながら懇談しました。参加した藤女子大生は「ウエディングドレスのお話などもできて、とても感激でした!」



まちの話題

●まちの主な出来事を写真で振り返ります。

○2008姉妹都市訪問の旅、無事終了

カナダ・キャンベルリバー市と姉妹都市提携25周年、ロシア・ワニノ市と同15周年を記念し、友好訪問団が両市を訪問しました。両市民の心がこもったものなしと友情に触れた訪問団。キャンベルリバー市では25本の桜を記念植樹、ワニノでは、シベリア抑留者の慰靈碑である「鎮魂・平和友好の碑」を墓参するなどして、普通の旅行では味わえない、心温まる交流をしました。



カナダ・デーのパレードに
みんなで参加し、交流を深めました



あちらこちらで、「フレップ・ソリ」(大きなパンをちぎって塩を付けて食べる、ロシアの歓迎の儀式)を受けました



○石狩に明治の偉人が勢ぞろい

石狩尚古社資料館では8月1日(金)から10月31日(金)まで20周年記念特別企画「坂本龍馬同時代の群雄展」を入場無料で開催しています。幕末から明治時代に活躍した勝海舟や西郷隆盛、大久保利通、吉田松陰、木戸孝允らの書を間近に見ることができる貴重な機会です。ぜひ、足を運んでみませんか?

※不定休のため見学前に中島さん☎62-3380に電話連絡が必要

※9月28日(日)には講演「坂本龍馬と同時代の遺墨たち」も。

詳細は18ページをご覧ください

間秘書広報課☎72-3145

広報いしかり11月号の会員募集記事掲載申込書の受付期間は9月20日(土)~30日(火)です。

●広報紙への会員募集記事掲載は「年1回」です。●掲載希望の場合は「会員募集記事掲載申込書」に必要事項を記入の上、上記期間内に秘書広報課窓口に持参・郵送・ファクス・メールのいずれかで提出してください(先着8件まで)。●申込書は市役所3階秘書広報課窓口・各支所・市民館にあるほか、石狩市ホームページからもダウンロードできます。

新婦人の「皆で楽しく着る着物小組」

対女性 時月1回19:00~
所花川南1-3-27 ヤスカ堂2階 料月900円 入会金100円
問山崎さん☎73-1015(電話は平日10:00~16:00)

○市民活動を応援する

「ぽぽらーと」がオープン

花川北コミセンに8月1日(金)オープンした市民活動情報センター「ぽぽらーと」は、新たに生まれた市民活動の拠点となるスポット。同センターの運営・管理をするNPO法人ひとまちつなぎ石狩の羽田美智代理事長は、オープンへの準備期間が短かったことから「無事今日を迎えて良かった」と胸をなで下ろしつつ、「ここは利用者の皆さんが命を吹き込む場所。皆さんを持つ情報こそが次の市民活動のヒントになり、そこから新しいネットワークが生まれてくれれば、より良いまちづくりにもつながるはず」と期待します。



○つけよう! ほめ日記

7月13日(日)、親自身の心を豊かにすることで充実した子育てをしてもらおうと、「心のジム・ツヅカ」主宰の手塚千砂子さんを迎えて、親育ちワークショップ「つけよう! ほめ日記」がりんくるで開かれました。自分の長所を書き出して気持ちを楽にする「ほめ日記」の付け方を学び、「子育てのイライラから、自分をもっと許せるようになった」「初対面の人に褒めてもらえてうれしかった」「明日からの自分が楽しみ!」など、参加者からは続々と喜びの声が。10月に花川北コミセンで開催される「こどもまつり子育てメッセ」でも、手塚さんによる親子参加型のワークショップを予定しています。お楽しみに。

